

【活動レポート】9/30 学習支援研修を実施しました



9月30日はVOLASで学習支援の研修を行いました。3時間ほどの研修の中で、子どもたちの学習の支援をする者としてのあり方、また、これからの活動をどう進歩させるのかについて話し合いました。

研修のはじめに、自分の担当している子どもの興味関心を自己分析するとともに、これからの活動をより子どもたちのためになるようにする

にはどのようなことを意識するかを全員で考えました。今までやってきた企画やお楽しみ会を振り返り、何を目的にしている、どのような効果が子どもたちにもたらされるのかということ进行分析しました。お互いに企画の意図について意見を共有するうちに子どもたちに達成感や刺激が与えられるもの、大人を含む他者の存在に気づかせてあげられるものが多くみられるということに気づきました。



それを踏まえてアクティビティを計画しました。考えた企画は、頭を使ったゲームを行うチーム対抗戦『くりふいんぴっく』、子どもたちに紙芝居を自分たちで考えて作ってもらう『めざせ！スタジオくりふ～紙芝居づくり～』、遠足の計画を子どもたちで発表してもらう『シミュレーションゲーム』です。どの企画も明確な目的を持つようにし、子どもたちにいい刺激を与えられればなと思っています。近いうちに実行できるようどんどん計画を進めていきます。

最後に学習支援に来ている子どもたちと同じような境遇を持つボランティア仲間の一人にお話を聞き、実際に子どもの時どう思っていたのか、外国につながる子ども

として生活するのはどういうことなのかについて聞きました。実際にその状況に直面していた人の話を聞くことで、子どもたちに対する自分の見方も変わりましたし、子どもたちが感じているであろうことを聞いて良かったです。？

今回の研修を通してたくさんのことを学びました。これからの自分たちの活動がより良いものになるよう活かしていきたいです。

(言語文化学部英語専攻2年 小林奈央)

日時: 2016年10月12日

